

株主の皆さまへ

第160期中間事業概況

平成22年4月1日から平成22年9月30日まで



株主の皆さまへ

株主の皆さまにおかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご理解ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社では第160期（平成22年4月1日から平成23年3月31日まで）の第2四半期決算をとりまとめましたので、その概況をご報告申し上げます。

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、厳しい雇用情勢が続いたものの、各種政策効果等により個人消費や企業の生産活動が改善傾向にあるなど、景気は緩やかな持ち直し基調で推移いたしました。

ガス業界におきましては、他熱源との競合が激化しており、特に家庭用市場におけるオール電化攻勢が増すなど、事業環境は大変厳しいものとなっております。

こうした情勢下にあります、当社は総力をあげて都市ガスの普及拡大、事業基盤の強化および保安の確保に取り組んでまいりました。

部門別業績ならびに収支の状況につきましては、3頁以降に記載のとおりであります。中間配当につきましては、当期におきましてもその実施を見送らせていただくことといたしました。なにとぞご了承賜りますようお願い申し上げます。

次に会社が対処すべき課題について申し上げます。

景気の先行きは、ここへ来ての急速な円高や世界経済の減速、国内の政策効果の息切れなどにより、足踏み状態になることも予想されております。

このような状況のなか、当社は、お客さまから信頼され選択していただける企業であるために、経営全般にわたるさらなる効率化を進め、「ガスのある暮らしの素晴らしさ」を「ウイズガス」というコンセプトワードにこめて広く訴求し、お客さまとのコミュニケーション促進に努めてまいります。

さらに現在、環境意識の高まりを受けた「低炭素社会の実現」という課題を「ガスの拡販」とあいまって達成していかなければならないことから、当社の家庭用重点施策「ウイズガスECOセンチュリープロジェクト」を創立100周年であります平成25年まで全社をあげて取り組んでまいります。具体的には、エコウィル・エコTES（エコジョーズを熱源とするガス温水暖冷房システム）、太陽光発電（W発電）の拡販、平成23年度発売予定の家庭用燃料電池エネファームなど環境に優しいガスシステム機器の普及に努めてまいります。

この課題の達成には、従来から進めております「フェイス・トゥ・フェイス訪問」の推進が不可欠であり、あらゆる機会をとらえてガスに関する最新情報をすべてのお客さまに積極的にPRしてまいります。

ガス供給基盤の整備として実施しております新潟地区における熱量変更作業につきましては、来年1月の無事故完了を目指してまいります。

保安強化の面では、お客さまから安心してガスをご使用いただくため、すべてのバーナーに安全センサーが搭載された「Siセンサーコンロ」など安全型ガス機器の普及促進やねずみ鋳鉄管、白ガス管などの経年ガス管取替を継続的かつ積極的に推進してまいります。災害対策としては、昨年10月新潟地区において地震時緊急遮断システムの運用を開始しましたが、引き続き長岡・三条地区においても新潟地区と同様のシステムの構築を進めるなど保安の確保に努めてまいります。

加えて、当社が持続的な成長を遂げるための中長期的な課題につきましても検討し取り組んでまいります。

また、当社は今後も企業活動のあらゆる場面において、企業倫理の向上、法令遵守の徹底を図り、社会的責任を確実に果たしてまいります。

株主の皆さまには、なにとぞ当社の現状をご賢察くださいます。今後とも変わらぬご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成 22 年 12 月

取締役社長

敦 井 榮 一



業績の概況

〈ガス販売〉

当第2四半期末のお客さま件数は、前年同期末に比べ4.2%増の359,082件となりました。

ガス販売量は、前年同期比10.4%増の158,840千 m^3 となりました。用途別では、家庭用は、春先の低気温による給湯・暖房需要が増加したことから、前年同期比5.7%増の65,875千 m^3 となりました。業務用（商業用、工業用、その他用）は、春先の低気温による給湯・空調需要の増加および夏場の高気温による空調需要の増加などから、前年同期比14.0%増の92,965千 m^3 となりました。

ガス売上高につきましては、上記によるガス販売量の増加により前年同期比12.1%増の138億80百万円となりました。

〈ガス工事〉

受注工事収益につきましては、戸建住宅およびマンションなど大型物件の着工減等により、前年同期比16.9%減の3億89百万円となりました。

〈ガス機器〉

器具販売収益につきましては、リフォーム需要を獲得し、既築物件への販売は増加したものの、新築物件の販売が減少したことから、前年同期比0.8%減の12億24百万円となりました。

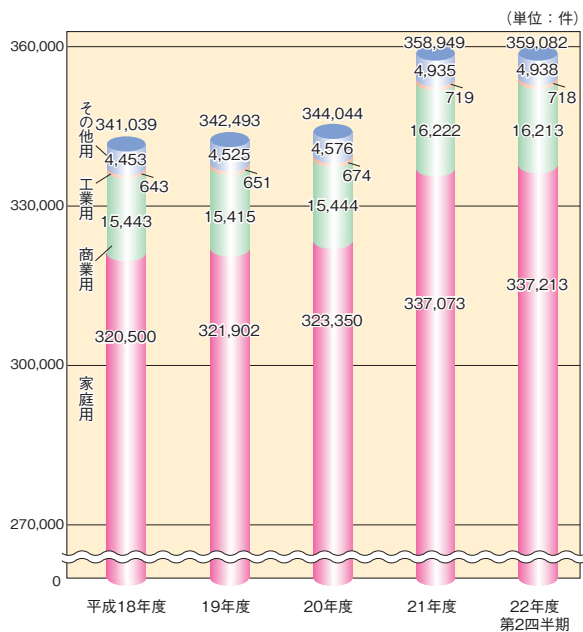
〈総売上高および収支の状況〉

当第2四半期累計期間の総売上高は、前年同期比10.0%増の154億99百万円となりました。

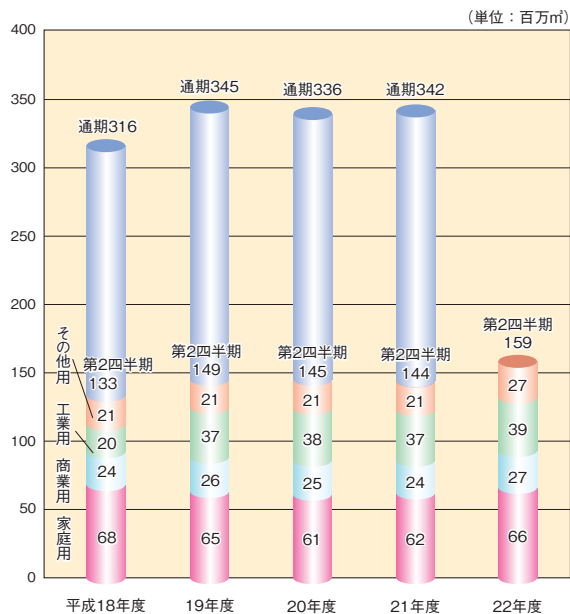
費用面につきましては、ガス販売量増加等に伴う原料費、「13Aガス」への熱量変更費用および長岡市ガス事業譲受けに伴う減価償却費等の増加があったことから、経営全般にわたり経費の削減に努めましたが、前年同期比11.2%増の151億83百万円となりました。

この結果、営業外収益および営業外費用を加えた経常利益は前年同期比22.6%減の4億26百万円、第2四半期純利益は前年同期比23.2%減の2億69百万円となりました。

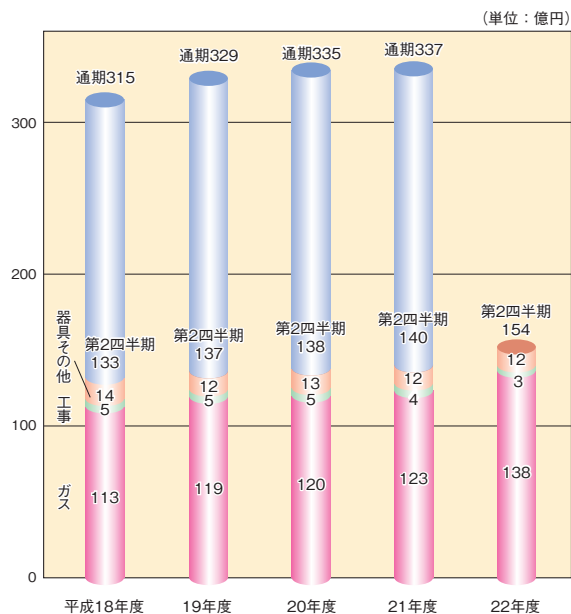
■お客さま件数



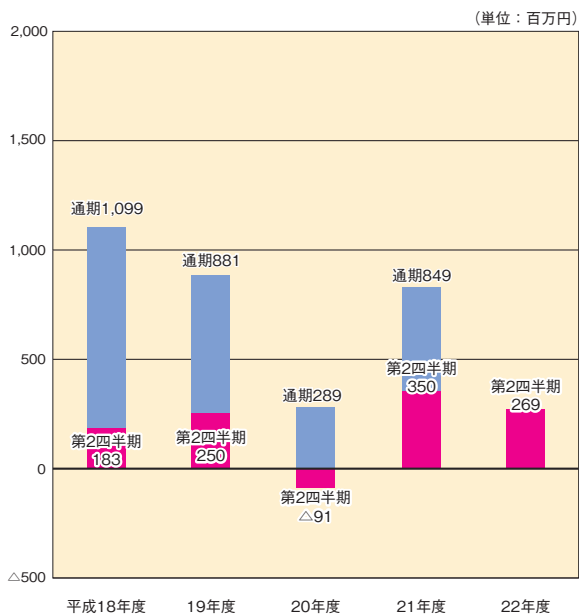
■ガス販売量



■総売上高



■当期純利益



計算書類

貸借対照表

(単位：百万円)

資産の部	当第2四半期末 (H22.9.30)	前期末 (H22.3.31)
固 定 資 産	40,022	40,953
有 形 固 定 資 産	35,454	35,898
製 造 設 備	690	548
供 給 設 備	32,099	33,004
業 務 設 備	1,066	1,062
建 設 仮 勘 定	1,597	1,283
無 形 固 定 資 産	2,422	2,605
鉱 業 権	0	0
の れ ん	1,779	1,825
ソ フ ト ウ ェ ア	423	644
そ の 他 無 形 固 定 資 産	219	134
投 資 そ の 他 の 資 産	2,145	2,449
投 資 有 価 証 券	1,564	1,860
関 係 会 社 投 資	310	311
出 資 金	0	0
長 期 前 払 費 用	193	194
そ の 他 投 資	82	119
貸 倒 引 当 金	△6	△35
流 動 資 産	3,480	5,031
現 金 及 び 預 金	597	1,253
受 取 手 形	107	72
売 掛 金	1,712	2,534
関 係 会 社 売 掛 金	10	9
未 収 入 金	182	450
製 品	45	55
原 料	11	5
貯 蔵 品	278	284
前 払 費 用	115	0
関 係 会 社 短 期 債 権	59	35
繰 延 税 金 資 産	297	297
そ の 他 流 動 資 産	76	51
貸 倒 引 当 金	△13	△18
繰 延 資 産	2,267	2,007
開 発 費	2,267	2,007
資 産 合 計	45,770	47,992

負債の部	当第2四半期末 (H22.9.30)	前期末 (H22.3.31)
固 定 負 債	7,774	8,403
長 期 借 入 金	6,157	6,691
繰 延 税 金 負 債	75	202
退 職 給 付 引 当 金	398	512
役 員 退 職 慰 労 引 当 金	337	328
ガ ス ホ ル ダ ー 修 繕 引 当 金	805	667
流 動 負 債	5,497	6,799
1年以内に期限到来の固定負債	1,068	1,123
買 掛 金	1,196	2,203
短 期 借 入 金	300	-
未 払 金	663	948
未 払 費 用	918	1,028
未 払 法 人 税 等	279	460
前 受 金	345	355
預 り 金	29	21
関 係 会 社 短 期 債 務	695	644
役 員 賞 与 引 当 金	-	12
負 債 合 計	13,271	15,202
純資産の部	当第2四半期末 (H22.9.30)	前期末 (H22.3.31)
株 主 資 本	31,964	32,031
資 本 金	2,400	2,400
資 本 金	2,400	2,400
資 本 剰 余 金	21	21
資 本 準 備 金	21	21
利 益 剰 余 金	29,558	29,624
利 益 準 備 金	600	600
そ の 他 利 益 剰 余 金	28,958	29,024
固 定 資 産 圧 縮 積 立 金	139	146
別 途 積 立 金	26,100	26,100
繰 越 利 益 剰 余 金	2,718	2,778
自 己 株 式	△14	△14
自 己 株 式	△14	△14
評 価 ・ 換 算 差 額 等	533	758
そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	533	758
そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	533	758
純 資 産 合 計	32,498	32,789
負 債 純 資 産 合 計	45,770	47,992

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書

費用	(単位：百万円)	
	当第2四半期累計期間 (H22.4~H22.9)	前第2四半期累計期間 (H21.4~H21.9)
売上原価	6,641	5,491
期首たな卸高	55	51
当期製品製造原価	2,151	2,313
当期製品仕入高	4,497	3,174
当期製品自家使用高	17	11
期末たな卸高	45	35
(売上総利益)	(7,238)	(6,891)
供給販売費	5,948	5,448
一般管理費	1,013	1,060
(事業利益)	(277)	(382)
営業雑費用	1,580	1,656
受注工事費用	407	470
器具販売費用	1,172	1,186
(営業利益)	(315)	(432)
営業外費用	53	34
支払利息	53	34
雑支出	-	0
経常利益	426	550
税引前四半期純利益	426	550
法人税等	156	199
四半期純利益	269	350
合計	15,663	14,242

収益	(単位：百万円)	
	当第2四半期累計期間 (H22.4~H22.9)	前第2四半期累計期間 (H21.4~H21.9)
製品売上	13,880	12,383
ガス売上	13,880	12,383
営業雑収益	1,618	1,707
受注工事収益	389	469
器具販売収益	1,224	1,234
その他営業雑収益	4	4
営業外収益	164	152
受取利息	0	0
有価証券利息	0	-
受取配当金	28	30
導管修理補償料	-	67
受取賃貸料	34	33
投資有価証券受贈益	56	-
雑収入	44	20
合計	15,663	14,242

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結計算書類

連結貸借対照表

(単位：百万円)

資産の部	当第2四半期末 (H22.9.30)	前期末 (H22.3.31)	負債の部	当第2四半期末 (H22.9.30)	前期末 (H22.3.31)
固 定 資 産	45,827	46,884	固 定 負 債	9,830	10,691
有 形 固 定 資 産	39,694	40,278	長 期 借 入 金	7,503	8,219
製 造 設 備	689	548	繰 延 税 金 負 債	76	202
供 給 設 備	35,061	36,134	退 職 給 付 引 当 金	450	763
業 務 設 備	1,297	1,301	役 員 退 職 慰 労 引 当 金	463	481
そ の 他 の 設 備	990	995	ガ ス ホ ル ダ ー 修 繕 引 当 金	979	830
建 設 仮 勘 定	1,654	1,298	そ の 他 固 定 負 債	357	193
無 形 固 定 資 産	2,480	2,649	流 動 負 債	6,976	8,165
の れ ん	1,779	1,825	1年以内に期限到来の固定負債	1,443	1,498
そ 他 無 形 固 定 資 産	700	823	支 払 手 形 及 び 買 掛 金	1,812	2,837
投 資 そ の 他 の 資 産	3,653	3,957	短 期 借 入 金	301	-
投 資 有 価 証 券	2,404	2,828	未 払 法 人 税 等	486	552
繰 延 税 金 資 産	508	508	役 員 賞 与 引 当 金	-	15
そ の 他 投 資	750	660	そ の 他 流 動 負 債	2,932	3,260
貸 倒 引 当 金	△10	△39	負 債 合 計	16,807	18,857
流 動 資 産	7,795	9,001	純 資 産 の 部	当第2四半期末 (H22.9.30)	前期末 (H22.3.31)
現 金 及 び 預 金	3,211	3,840	株 主 資 本	36,501	36,379
受 取 手 形 及 び 売 掛 金	2,738	3,560	資 本 金	2,400	2,400
有 価 証 券	450	199	資 本 剰 余 金	21	21
貯 蔵 品	319	322	利 益 剰 余 金	34,095	33,972
未 成 工 事 支 出 金	-	69	自 己 株 式	△14	△14
繰 延 税 金 資 産	338	336	評 価 ・ 換 算 差 額 等	533	757
そ の 他 流 動 資 産	763	701	そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	533	757
貸 倒 引 当 金	△27	△29	少 数 株 主 持 分	2,014	1,867
繰 延 資 産	2,234	1,975	純 資 産 合 計	39,049	39,004
開 発 費	2,234	1,975	負 債 純 資 産 合 計	55,857	57,861
資 産 合 計	55,857	57,861			

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

■連結損益計算書

費用	(単位：百万円)	
	当第2四半期累計期間 (H22.4~H22.9)	前第2四半期累計期間 (H21.4~H21.9)
売上原価	10,937	10,842
(売上総利益)	(8,660)	(8,472)
供給販売費及び一般管理費	7,893	7,572
供給販売費	6,591	6,199
一般管理費	1,302	1,372
(営業利益)	(766)	(900)
営業外費用	65	55
支払利息	62	45
その他	3	10
経常利益	949	1,107
税金等調整前四半期純利益	949	1,107
法人税等	343	408
少数株主損益調整前四半期純利益	605	-
少数株主利益(減算)	147	149
四半期純利益	457	549
合計	19,845	19,576

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

■連結子会社(5社)

北陸天然瓦斯興業(株)、北陸ガスエンジニアリング(株)、
北陸ガスリビングサービス(株)、蒲原瓦斯(株)、北栄建設(株)

収益	(単位：百万円)	
	当第2四半期累計期間 (H22.4~H22.9)	前第2四半期累計期間 (H21.4~H21.9)
売上高	19,597	19,314
営業外収益	248	262
受取利息	7	9
受取配当金	30	31
導管修理補償料	-	142
受取賃貸料	25	24
投資有価証券受贈益	56	-
その他	129	54
合計	19,845	19,576

■おかげさまで30回 2010ガス展開催

「ウイズガス～快適な暮らしのそばに～」をテーマとして、10月22日(金)から新潟地区を皮切りに、三条地区、長岡地区において2010ガス展を開催いたしました。

当社は、昭和55年10月に第1回目を開催して以来、おかげさまで30回目のガス展を迎えることができました。

エコウィルと太陽光発電システムとの併設によるW発電など最新の家庭用ガス機器の展示・実演をはじめ、業務用厨房機器や、太陽光、太陽熱利用等の環境配慮型空調システム、天然ガス自動車の展示、また当社における防災対策や保安体制等についての周知を行うなど、幅広く都市ガスについてPRいたしました。



新潟地区の新潟市産業振興センター会場では、最新の家庭用・業務用ガス機器の展示・実演のほか、新潟の名産である「米」をテーマにキッズキッチン教室を開催いたしました。



三条地区は、三条商工会議所を会場に、オープンキッチンにて料理実演も行い、「S iセンサーコンロ」の安全性と利便性を紹介いたしました。



長岡地区のアトリウム長岡会場では、W発電、エコウィル、エコジョーズなど最新のガス機器を多数展示・実演いたしました。

平成20年1月から進めてまいりました熱量変更作業は、長岡・三条地区において平成21年3月末に完了し、残る新潟地区において平成23年1月の無事故完了を目指し実施しております。

この「13Aガス」への切り替えにより、家庭用から業務用まで今後普及または開発が期待される機器も含めてガス機器の幅広い選択が可能となります。当社では、今後もさらなる都市ガスの安定供給を図るとともに、お客さまに安心してガスをお使いいただけるよう、保安の確保とサービス向上に努めてまいります。



体育館の吊り下げストーブの調整作業は、足場を設営し高所での作業となりました。



業務用厨房内でのガスレンジ（9台連結式）調整作業は、9名が横に並んで一斉にノズルの交換等を行いました。



8月の東港工場、9月の山の下工場に続き、10月には関屋工場において新設した増熱設備を実際に稼働し、13Aガスを製造する総合試運転を実施いたしました。

人にも地球にもやさしい

快適 **ウィズガス住宅** の暮らし

～北陸ガスでは、快適で環境にやさしい暮らしを実現するさまざまな住宅設備を提供しております～
エネルギーをつかう家からつくる家へ、エコウィルと太陽光発電の組み合わせで、地球環境にも家計にもやさしい暮らしを提供します。

これからも地球と生きていくために。

With Gas With Earth

太陽 + ガス ダブル発電の快適さ。

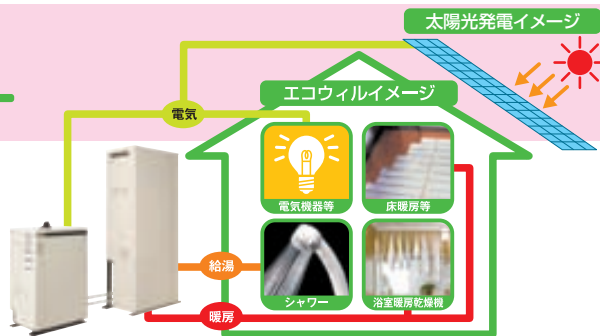
ガスで CO₂ 削減 地球温暖化防止！

おすすめ

エコウィル
ECO WILL

エコウィルとは

ガスで発電して
その時に出る熱を、
給湯・暖房に利用する
システムです。



ガス料金も割安に

家中でご使用になる
ガスがお安くなる

「湯～たるエコプラン」が
ご利用いただけます。

湯～たるエコプラン

電気代も節約

ご家庭で使用する電気の
約20～25%を
エコウィルで発電した
電気でもかかないです。

※4人家族での想定で試算

W発電でさらに快適

太陽光発電との
組み合わせで、
さらに環境に優しく、
快適になります。

ECO WILL × SOLAR

おすすめ

エコジョーズ

ガス高効率給湯器 エコジョーズ

エコジョーズとは

見た目は普通の給湯器ですが
燃焼後の排気ガスの熱を
利用することで
熱の効率を高めた給湯器です。
給湯はもちろん、暖房もできる
タイプもあります。

排気温度
従来型 約230℃
エコジョーズ 約50~80℃

エコジョーズイメージ



エコジョーズは効率が高い

今までの
給湯器は

効率 約 **83%**

エコ
ジョーズ

効率 約 **95%**

ガス 年間 料金 約 **8,600円** おトク

CO₂ 約 **10% 削減**

(従来品との比較、当社試算)

おすすめ

エスアイ

全口センサー搭載

SIセンサーコンロ

こんなに “安全” で “便利” で “快適” な

え!?こんな
すごいコンロが
あったの!?

Siセンサーコンロは安全!

あげルック!!

鍋底の温度を絶えず見守り、天ぷら火災を防ぎます。



鍋底の温度が
250℃になると...

一定時間250℃を保ち、
その後自動消火。

最新のガスコンロ!!

炎の技あり!



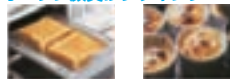
Siセンサーコンロは便利!

①揚げ物温度自動調節機能!

お好みの天ぷら油の温度を自動で保つから、油の
温度を気にせず揚げ物ができます!



②進化した両面焼き水なしグリルで
オープン顔負けクッキング



焼き魚はもちろん、ピザやアップルパイまでオープン
同様の調理ができる濃縮グリル。一気に焼き上げる
から脱脂効果もあり、ヘルシーです。

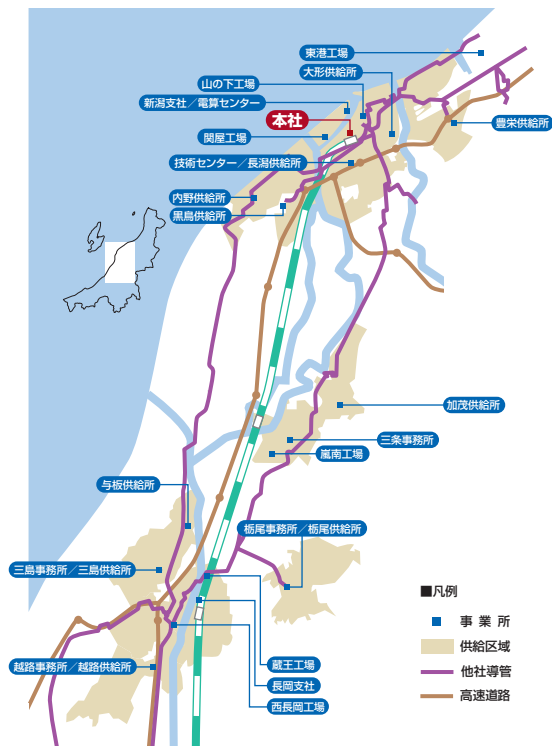
会社の概要 (平成22年9月30日現在)

設立	大正2年6月2日
資本金	24 億円
発行可能株式総数	96,000 千株
発行済株式の総数	48,000 千株
株主数	2,763 名
主要な事業内容	1.都市ガスの製造、供給および販売 2.ガス受注工事の施工 3.ガス機器の販売
従業員数	369 名

■事業所

本社	新潟市中央区東大通一丁目2番23号
新潟支社	新潟市中央区附船町一丁目4401番地
長岡支社	長岡市西神田町二丁目1番地2
三条事務所	三条市北中1番8号

■事業所、工場等および供給区域



■取締役および監査役

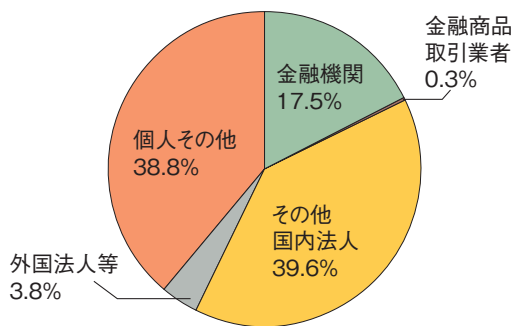
取締役社長	敦井 榮一
専務取締役	稲葉 俊光
常務取締役	今井 眞哉
取締役	佐藤 雄三
取締役	平松 健二
取締役	今井 康晴
取締役	小林 宏一
取締役	小島 国人
取締役	敦井 一友
常勤監査役	谷 県一
監査役	杉野 良介
監査役	鶴巻 克恕
監査役	唐橋 玄明

株式の状況 (平成22年9月30日現在)

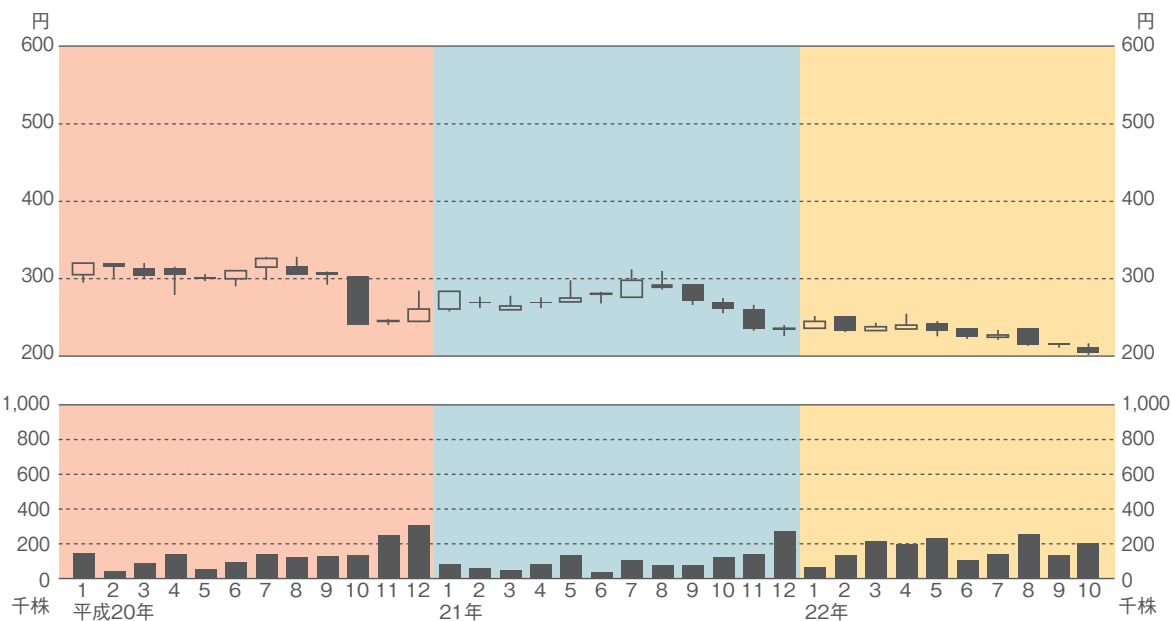
■大株主

株主名	所有株数 (千株)	持株比率 (%)
敦井産業株式会社	5,075	10.57
財団法人北陸瓦斯奨学会	3,477	7.24
新潟ヒューム管株式会社	2,618	5.45
財団法人敦井奨学会	2,258	4.70
第一生命保険株式会社	1,796	3.74
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(管理信託口・79211)	1,607	3.34
ビービーエイチフォーフィデリティ ロープライスストックファンド	1,600	3.33
株式会社第四銀行	1,371	2.85
三条信用金庫	1,182	2.46
敦井 一友	840	1.75

■所有者別株式分布状況



■株価および出来高の推移



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	
定時株主総会	6月中	
基準日	定時株主総会の議決権	3月31日
	期末配当	3月31日
	中間配当	9月30日
単元株式数	1,000株	
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社	

	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
郵便物送付先	口座を開設されている証券会社になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4
電話お問い合わせ先		0120-288-324 (フリーダイヤル)
お取扱店		みずほ信託銀行株式会社 みずほインバスターズ証券株式会社 全国本支店 全国本支店
ご注意	未払配当金の支払、支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・お取扱店になります。	単元未満株式の買取・買増以外の売買は出来ません。

公告方法

当社のホームページ(<http://www.hokurikugas.co.jp>)に掲載します。

ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

上場金融商品取引所	東京証券取引所
証券コード	9537



北陸瓦斯株式会社

新潟市中央区東大通一丁目2番23号

TEL 025-245-2211

<http://www.hokurikugas.co.jp>

